

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称 次世代快適健康住宅『笑顔の家』

グループの名称 次世代快適健康住宅を考える会

直近採択グループ番号 06-0568-0071

(グループ代表者)

| | | |
|---------|------------------|------|
| 代表者名 | 千田 稔 | 代表者印 |
| 代表者所属先 | 有限会社日高見工務店 | |
| 代表者所在地 | 岩手県北上市大堤西1丁目9-14 | |
| 代表者電話番号 | 0197-62-3377 | |

(グループ事務局)

| | | |
|--------------|------------------------------|---|
| 事務局事業者名 | 株式会社吉田産業 | |
| 事務局担当者名 | 大澤 豊 | 印 |
| 事務局郵便番号 | 024-0014 | |
| 事務局所在地 | 岩手県北上市流通センター23-12 | |
| 事務局電話番号 | 0197-68-3308 | |
| 事務局FAX | 0197-68-3356 | |
| 事務局担当者E-mail | y-ohsawa@yoshidasangyo.co.jp | |

| | | | | | | | | | |
|--|---|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|----------------------------|-----------------|----------------|---|---|
| B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数 (必須) | 長寿命型 | 長期優良住宅 | 経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数 | 今年度要望する戸数(上限100万円) | | 3 | 戸 | | |
| | | | | 加算申請 | 上記の内、地域材加算を要望(上限20万円) | 1 | 戸 | | |
| | | | | | 上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円) | 1 | 戸 | | |
| | | | | その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円) | | 0 | 戸 | | |
| | | | | 加算申請 | 上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円) | | 戸 | | |
| | | | | | 上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円) | | 戸 | | |
| | 長寿命型 | 長期優良住宅 | 未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数 | 今年度要望する戸数(上限110万円) | | 2 | 戸 | | |
| | | | | 加算申請 | 上記の内、地域材加算を要望(上限20万円) | | 戸 | | |
| | | | | | 上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円) | | 戸 | | |
| | | | | その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円) | | 0 | 戸 | | |
| | | | | 加算申請 | 上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円) | | 戸 | | |
| | | | | | 上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円) | | 戸 | | |
| | 高度省エネ型 | 認定低炭素住宅 | 経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数 | 今年度要望する戸数(上限100万円) | | 1 | 戸 | | |
| | | | | 加算申請 | 上記の内、地域材加算を要望(上限20万円) | | 戸 | | |
| | | | | | 上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円) | 1 | 戸 | | |
| | | | | その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円) | | 0 | 戸 | | |
| | | | | 加算申請 | 上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円) | | 戸 | | |
| | | | | | 上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円) | | 戸 | | |
| | | 認定低炭素住宅 | 未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数 | 今年度要望する戸数(上限110万円) | | 2 | 戸 | | |
| | | | | 加算申請 | 上記の内、地域材加算を要望(上限20万円) | | 戸 | | |
| | | | | | 上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円) | | 戸 | | |
| | | | | その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円) | | 0 | 戸 | | |
| | | | | 加算申請 | 上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円) | | 戸 | | |
| | | | | | 上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円) | | 戸 | | |
| 性能向上計画認定住宅 | | 経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数 | 今年度要望する戸数(上限100万円) | | 1 | 戸 | | | |
| | | | 加算申請 | 上記の内、地域材加算を要望(上限20万円) | | 戸 | | | |
| | | | | 上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円) | | 戸 | | | |
| | | | その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円) | | 0 | 戸 | | | |
| | | | 加算申請 | 上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円) | | 戸 | | | |
| | | | | 上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円) | | 戸 | | | |
| 性能向上計画認定住宅 | | 未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数 | 今年度要望する戸数(上限110万円) | | 0 | 戸 | | | |
| | | | 加算申請 | 上記の内、地域材加算を要望(上限20万円) | | 戸 | | | |
| | | | | 上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円) | | 戸 | | | |
| | | | その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円) | | 0 | 戸 | | | |
| | | | 加算申請 | 上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円) | | 戸 | | | |
| | | | | 上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円) | | 戸 | | | |
| ゼロ・エネルギー住宅 | 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数 | 今年度要望する戸数(上限125万円) | | 3 | 戸 | | | | |
| | | 加算申請 | 上記の内、地域材加算を要望(上限20万円) | | 戸 | | | | |
| | | | 上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円) | | 戸 | | | | |
| | | その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円) | | 0 | 戸 | | | | |
| | | 加算申請 | 上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円) | | 戸 | | | | |
| | | | 上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円) | | 戸 | | | | |
| ゼロ・エネルギー住宅 | 未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数 | 今年度要望する戸数(上限140万円) | | 1 | 戸 | | | | |
| | | 加算申請 | 上記の内、地域材加算を要望(上限20万円) | | 戸 | | | | |
| | | | 上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円) | | 戸 | | | | |
| | | その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円) | | 0 | 戸 | | | | |
| | | 加算申請 | 上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円) | | 戸 | | | | |
| | | | 上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円) | | 戸 | | | | |
| C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積 | 優良建築物の申請棟数 | | 今年度要望する棟数及び面積 | | 0 | 棟 | | | |
| | | | | | 0 | ㎡ | | | |
| | | | その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積 | | 0 | 棟 | | | |
| | | | | | 0 | ㎡ | | | |
| D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール (必須) | 最低原則1柱1棟とし過不足が生じる場合は、工期を考慮した上でまた過去に施工実績の無い事業者へ優先して割り振る。 | | | | | | | | |
| E. 平成29年度の執行状況 (必須) | 長寿命型(長期優良住宅) | | | | | | | | |
| | 採択戸数 | 2 | 戸 | 交付申請戸数 | 2 | 戸 | 完了実績(竣工予定含む)戸数 | 2 | 戸 |
| | 高度省エネ型(認定低炭素住宅) | | | | | | | | |
| | 採択戸数 | 0 | 戸 | 交付申請戸数 | 0 | 戸 | 完了実績(竣工予定含む)戸数 | 0 | 戸 |
| | 高度省エネ型(性能向上計画認定住宅) | | | | | | | | |
| | 採択戸数 | 0 | 戸 | 交付申請戸数 | 0 | 戸 | 完了実績(竣工予定含む)戸数 | 0 | 戸 |
| | 高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅) | | | | | | | | |
| | 採択戸数 | 0 | 戸 | 交付申請戸数 | 0 | 戸 | 完了実績(竣工予定含む)戸数 | 0 | 戸 |
| | 優良建築物型 | | | | | | | | |
| | 採択棟数 | 0 | 棟 | 交付申請戸数 | 0 | 棟 | 完了実績(竣工予定含む)棟数 | 0 | 戸 |
| 採択床面積 | 0 | ㎡ | 交付申請床面積 | 0 | ㎡ | 完了実績(竣工予定含む)床面積 | 0 | ㎡ | |

| | | |
|---------------------------|-------------------------------|--------------------------|
| 1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須) | (地域型住宅の名称) 次世代快適健康住宅『笑顔の家』 | (地域型住宅供給対象地域) 岩手県・宮城県 |
| 2. グループの名称・結成年(必須) | (グループの名称) 次世代快適健康住宅を考える会 | (結成年) 2015 年 |
| 3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須) | 06-0568-0071 | |

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

| 【平成30年度対応方針】 | | ◎、○ 記入欄 |
|--|---|------------|
| ①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能 | 奥羽山系と北上山系に挟まれた内陸性気候でありながら日本海側の影響を受け積雪量も比較的多い地域である為、寒冷地対応型を基本とし、高断熱・高密度・低燃費に配慮した地域型住宅の性能を確保する。(UA値0.5Wm ² /K以下・C値1.0cm/m ² 以下) | ◎ |
| ②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式 | 恵まれた森林資源である地域の優良木材を有効に使用し、地域職人による伝統技術を継承しながら、新しい技術や再生可能エネルギー、高効率機器の導入を促進したサステナブル住宅を提供して行く。 | ◎ |
| ③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール | ライフスタイルに応じたユニバーサルデザインを基調とし、内装材にも地域材を積極的に取り入れ、日射取得・遮蔽・通風の自然エネルギーを考慮した燃費効率に優れ、冬季の積雪にも配慮された地域の景観に調和する住宅を設計企画する。 | ○ |
| ④①～③の背景 | 次の世代にまで受け継ぐ快適で健康な高性能住宅をより多く提供する事で、地域の発展に寄与していくとともに、持続可能な社会の実現を目指す使命を果たしていく。 | ◎ |
| ⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。 | | |

イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

| 【平成30年度対応方針】 | | ◎、○ 記入欄 |
|---|--|------------|
| a | | |
| ①-1 用材の寸法規格化 | <input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: JAS認定規格品105角柱・120角柱を基本とする。 | ◎ |
| ①-2 使用建材の統一 | <input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 建材は、オリジナルプランを作成し、パッケージ化された仕様を基にユーザーへ提案する。 | ○ |
| ①-3 標準仕様の設定 | <input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 標準規格品からなるオリジナルプランを作成し、パッケージ化された仕様を基にユーザーへ提案する。 | ○ |
| ②-1 建材・資材調達共同化 | <input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 標準仕様材料の一括仕入によるスケールメリットを出し、コストダウンと供給不足の防止をする。 | ○ |
| ②-2 調達事務の合理化 | <input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 独自のWebシステムにより事務処理の効率を向上する。 | ○ |
| ③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置 | <input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 事務局が主体となりグループ構成員と必要に応じて、合理化に向けた会合による話し合いを行い協議する。 | ○ |
| ④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割 | <input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 生産性の合理化向上に向けて、問題点や効率の良い施策を検討し、グループ構成員へ発信していく。また、構成員を対象とした生産性向上の為に勉強会・検討会を計画し実施する。 | ○ |
| b | | |
| ① グループの信頼性向上に向けた施工基準 | <input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 主要部分における施工基準マニュアルを協議しガイドラインを作成する。 | ○ |
| ② グループの信頼性向上に向けた検査ルール | <input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 検査基準項目からなるチェックリストを用いて、各構成員の社内検査を基本とする。必要に応じて、第三者機関の検査や、性能評価等の検討実施を行う。 | ○ |
| ③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール | <input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 資材コスト等のデータベース化を推進し、可能な限りリスト化することで、見積りの効果と明朗化に努める。 | ○ |
| ④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組 | <input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: メディア・マスコミ・HP・SNS・DM等の媒体・ツールの活用、各種フェア、展示会において地域の皆様へ訴求する。 | ○ |
| c | | |
| ① 週休2日制の導入の取組 | <input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 構成員会社単位で週休2日が取れる様、勤務日数を設定してローテーションを作成して取組む。 | ◎ |
| ② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組 | <input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 構成員会社単位で技能者や資格所有者に職責に応じた処遇の対応に取組んでいる。 | ○ |
| ③ 社会保険への加入 | <input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 構成員ほぼ加入済みである。 | ◎ |
| ④ 安全及び健康の確保のための取組 | <input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 構成員会社単位で安全衛生委員会を立ち上げ推進中。 | ○ |
| その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。 | 中間目標として今後5年後頃を目処に、グループ構成員(施工)が当該住宅を1棟以上経験し、そのデータをもとに工夫改善を行い、効率的、安定的な生産体制の確立を目指す。 | ○ |

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須) | (地域型住宅の名称) 次世代快適健康住宅『笑顔の家』 | (地域型住宅供給対象地域) 岩手県 宮城県 | | |
| 2. グループの名称・結成年月(必須) | (グループの名称) 次世代快適健康住宅を考える会 | (結成年) 2015 年 | | |
| 3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須) | 06-0568-0071 | | | |
| 4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。 | | | | |
| ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備 | | | | |
| 【平成30年度対応方針】 | | ◎、○ 記入欄 | | |
| a | ① 住宅蓄積履歴情報の | ①-1 内容・蓄積の共通ルール | <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 観客管理ソフト等を活用、家歴化しストックした住宅情報をもとに定期的な維持管理・診断・点検を計画的に行う。 | ○ |
| | | ①-2 情報サービス機関の活用 | <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 常に最新の状況ヘデータメンテナンスしておく。また、アラート機能を採用し定期点検忘れを防止する。 | ○ |
| | | ①-3 履歴情報蓄積の確認手法 | <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 観客管理ソフト等を活用する。 | ○ |
| | ② メンテナンス基準 | ②-1 点検の共通ルール | <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 家歴化によりストックされた情報をもとに、定期連絡・訪問を実施しアドバイス・提案を行う。 | ○ |
| | | ②-2 補修の共通ルール | <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: メーカーメンテナンス部門と連携し、急なトラブルにも対応できるアフターフォロー体制を整備する。 | ○ |
| | | ②-3 点検補修実施の確認手法 | <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 観客管理ソフト等を活用する。 | ○ |
| | ③ 住まいの管理 | ③-1 住まい管理勉強会の実施 | <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住まいのお手入れBOOK等のツール配布等、ユーザーが自ら維持管理出来る仕組みを検討する。 | ○ |
| | | ③-2 DIY体験会等の実施 | <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅見学会、各種定期イベントの開催時に合わせて実施する。 | ○ |
| | | ③-3 その他の相談会等の実施 | <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅見学会、各種定期イベントの開催時に合わせて実施する。 | ○ |
| | ④ 維持管理委員会等の設置 | <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局を中心とし構成員から委員長を発足し、ヒヤリング等によりまとめられた実施状況を共有する。 | ○ | |
| | ⑤ その他の維持管理の手法 | <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: | | |
| | b | ① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール | <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ構成員の工務店と協議し維持保全の対応を行う(有料)。 | ○ |
| | | ② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 | <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 任意の各種長期補償制度を積極的に活用しユーザーの信頼と安全を確立する。 | ◎ |
| | その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。 | | スケルトン・インフェルの推奨により、維持管理の容易な建物を検討していく。 | ○ |
| | エ. グループの技術力の向上 | | | |
| 【平成30年度対応方針】 | | ◎、○ 記入欄 | | |
| a | ① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 | <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 経験工務店の事例をもとにした勉強会を実施する。また、外部研修への参加検討・実施を行う。 | ◎ | |
| | ②-1 品質管理のための共通ルール | <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: モデルプランで使用建材商品、メーカーを推奨している。 | ○ | |
| | ②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法 | <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局での申請手続き代行を原則とする。 | ○ | |
| | ③-1 需給計画の策定 | <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループでの定例会(2回/年)を実施し、勉強会等行う。 | ○ | |
| | ③-2 技術力向上のための中長期的な計画 | <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 良質で省エネな高性能住宅の提供に向けた体制の強化と需要拡大に向けての目標を計画する。 | ○ | |
| | ④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組 | <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各業種毎に安定需要の為に生産性の向上やコストダウン・流通体制の整備等情報収集や検討を重ねる。 | ○ | |
| | b | ①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 | 昨年度までの終了者数 10 今年度の参加目標人数 10 | ○ |
| ①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 | | 昨年度までの終了者数 7 今年度の参加目標人数 10 | ○ | |
| ② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組 | | <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局からの各講習会開催情報の案内を行う。 | ○ | |
| c | ① 新たな技術等の導入 | <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 専門家や建材メーカー事業部との協同研修会、研究会等により促進をする。 | ○ | |
| | ② 新たな技術等の開発 | <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: モデルハウスや実験棟、了解を得られた物件で試験採用、実証実験を行いデータ化し検討する。 | ○ | |
| その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。 | | 省エネルギー化・低炭素化社会に向けて無理のないエネルギーの使い方や住まい方を提案・啓蒙していく。 | ○ | |

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

| | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|-------|---|--|--|--|--|-----|---|-----|--|----|--|
| 1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須) | (地域型住宅の名称) 次世代快適健康住宅『笑顔の家』 | (地域型住宅供給対象地域) 岩手県・宮城県 | | | | | | | | | | | | |
| 2. グループの名称・結成年月(必須) | (グループの名称) 次世代快適健康住宅を考える会 | (結成年) 2015 年 | | | | | | | | | | | | |
| 3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須) | 06-0568-0071 | | | | | | | | | | | | | |
| 4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。 | | | | | | | | | | | | | | |
| オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与 | | | | | | | | | | | | | | |
| 【平成30年度対応方針】 ◎、○ 記入欄 | | | | | | | | | | | | | | |
| a | 地域材利用に関する | | | | | | | | | | | | | |
| ① | 共通 ルール(必須) | 主要構造材(土台・柱・梁桁)に県産材、国産材または合法木材(国内・国外)を使用する。 | | | | | | | | | | | | |
| ② | 地域材利用の1棟当 たりの割合(必須) | <input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上 | | | | | | | | | | | | |
| ③ | 標準的な地域材の使 用部位(必須) | <table border="1"> <tr> <td>主要構造材</td> <td>土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>柵材、廻縁等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> </table> | 主要構造材 | 土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している | | 柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している | | 梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している | 羽柄材 | 間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している | 造作材 | 柵材、廻縁等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している | 板材 | 壁板、床板等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している |
| 主要構造材 | 土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している | | | | | | | | | | | | | |
| | 柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している | | | | | | | | | | | | | |
| | 梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している | | | | | | | | | | | | | |
| 羽柄材 | 間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している | | | | | | | | | | | | | |
| 造作材 | 柵材、廻縁等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している | | | | | | | | | | | | | |
| 板材 | 壁板、床板等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している | | | | | | | | | | | | | |
| ④ | 地域材の流れ(フロー図) などグループの取組に關 する補足説明 | 基本フローとしては、原木供給者→製材・集成材製造・合板製造→建材流通→プレカット加工→施工工務店(例外も有り得る)。また諸事情により出荷事業者が特定出来ない場合、グループ内の事業者による合法性・県産材証明により代替できるものとする。 | | | | | | | | | | | | |
| b | ①-1 地域材在庫把握の仕組 | <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が中心となり、地域材の在庫量の情報収集を行い構成員へ発信する。 | | | | | | | | | | | | |
| | ①-2 地域材価格の共有の仕組 | <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が中心となり、地域材の在庫量の情報収集を行い構成員へ発信する。 | | | | | | | | | | | | |
| | ② グループ全体における地 域材の需給予測 | <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 工務店や材木店との情報交換・共有しながら、地域材の使用量と使用時期を把握し安定した需給バランスを確保する取り組みを促進する。 | | | | | | | | | | | | |
| c | ①-1 畳の活用 | <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: | | | | | | | | | | | | |
| | ①-2 和瓦の活用 | <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: | | | | | | | | | | | | |
| | ①-3 襖の活用 | <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: | | | | | | | | | | | | |
| | ①-4 障子の活用 | <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: | | | | | | | | | | | | |
| | ②-1 その他地域の伝統的な素 材の活用 | <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: | | | | | | | | | | | | |
| | ②-2 その他地域の伝統的な意 匠の活用 | <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: | | | | | | | | | | | | |
| d | ① 地域の伝統的なデザ インを継承する取組 | <input type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: | | | | | | | | | | | | |
| | ② 地域の住まい方の継承に つながる取組 | <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地域の方々との交流を深めるイベントを検討・実施する。 | | | | | | | | | | | | |
| | ③ 地域の街並み形成へ寄 与する取組 | <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 建築地の景観に配慮する。 | | | | | | | | | | | | |
| | ④ 和の住まいの要素を取 入れた取組 | <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: | | | | | | | | | | | | |
| | その他 ※上記項目以外でグループ独自の ルール・目標があれば記入 してください。 | 地域材の積極的使用により地域経済の発展に寄与する。 | | | | | | | | | | | | |
| カ. その他 | | | | | | | | | | | | | | |
| 【平成30年度対応方針】 ◎、○ 記入欄 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 東日本大震災の復興に資する取組 | 被災地域の木材、資材の積極的使用を促進する。 | | | | | | | | | | | | |
| | 平成28年熊本地震の復興に資する取組 | | | | | | | | | | | | | |

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

| | | |
|---|--|---|
| 1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須) | <small>(地域型住宅の名称)</small> 次世代快適健康住宅『笑顔の家』 | <small>(地域型住宅供給対象地域)</small> 岩手県.宮城県 |
| 2. グループの名称・結成年月(必須) | <small>(グループの名称)</small> 次世代快適健康住宅を考える会 | <small>(結成年)</small> 2015 年 |
| 3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須) | 06-0568-0071 | |
| 4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み | | |
| キ. グループが取り組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。 | | |
| <p>グループが取り組む認定低炭素住宅はU値0.5Wm²以下とし、外皮性能を重視した高断熱・高气密化・自然エネルギー考慮等、低炭素住宅の品質を確保する為、外部付加断熱仕様で気流止めによる連続した防湿気密層を施工し、高性能PVC断熱サッシを基本とする。また、高効率設備機器(冷暖房・給湯はHP方式、水栓・便器は節水型機器、太陽光発電等の再生可能エネルギーまたはHEMS)の採用により、一次エネルギー消費量を省エネルギー基準の10%以上削減を達成させたCO₂排出制限に資する住宅とする。</p> <p>ゼロエネルギー住宅はUA値0.35Wm²以下とし、全体の削減率R=102.6%以上、太陽光発電を除く一次エネルギー消費量の削減率R0=39%以上 を目標にする。ゼロエネ仕様としての特徴は外部付加断熱材の補強、開口部の補強(PVCサッシ・トリプル硝子+LOW-E+Ar)、LED照明採用(調光・センサータイプ等推奨)、エネルギーマネジメントとして、創蓄連係システムの推奨など。</p> <p>尚、4地域にゼロエネルギー住宅を建築する場合も3地域仕様とする。基本理念は住む人が無理の無い暮らしを快適で健康に、次世代まで受け継がれる住宅とする。</p> | | |

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。